

## 平成 26 年度(2014 年度)研究業績

### 1. 研究発表等

No	発表者	発表課題名	発表学会等	年月
1	正司和之ら	<i>Colletotrichum fructicola</i> Prihastuti, L. Cai et K.D. Hyde によるピーマン炭疽病(病原追加)	日本植物病理学会報第 80 巻第 4 号:235.	2014 年 6 月
2	田代暢哉ら	揮発性抗菌物質産生 <i>Bacillus pumilus</i> TM-R 株によるハウスマカンすす斑病の発病抑制	日本植物病理学会報第 80 巻第 4 号:282.	2014 年 6 月
3	石橋哲也ら	夏播き冬どりタマネギの収量に及ぼす苗質と生育の影響	九州農業研究専門部会 発表要旨集: 146.	2014 年 9 月
4	大坪竜太ら	ホウ酸塩肥料の葉面散布時期の違いがイチゴ'さがほのか'の先絞り果(仮称)発生に及ぼす影響	九州農業研究専門部会 発表要旨集: 150.	2014 年 9 月
5	浦田貴子ら	サツマイモ新系統'関東 132 号'の佐賀県上場地域における適応性	九州農業研究専門部会 発表要旨集: 44.	2014 年 9 月
6	古川智博ら	血統および出荷月齢とモモ肉の脂肪交雑との関係	九州農業研究専門部会 発表要旨集: 80.	2014 年 9 月
7	石橋哲也ら	イチゴ'さがほのか'においてうね連続利用栽培はいつまで可能か	園芸学研究 第 13 巻 別冊 2:442.	2014 年 9 月
8	田代暢哉	EBC のための統計解析 作物病害防除研究において「発病度」は統計解析に使えるのか? 解析には生の数値データを使わなければならない	EBC 研究会ワークショップ 2014 要旨集: 1-17.	2014 年 10 月
9	正司和之ら	Mn を指標としたマンゼブ付着量の推定—どこでも、誰でも、簡単に、エビデンスメイカー	EBC 研究会ワークショップ 2014 要旨集:52.	2014 年 10 月
10	Kazuyuki Shoji et al.	First report of <i>Colletotrichum fructicola</i> Prihastuti, L. Cai et K.D. Hyde as a causal pathogen of Sweet Pepper Anthracnose in Japan	第 3 回日韓植物病理学会合同シンポジウム 要旨集:90.	2014 年 10 月
11	正司和之ら	畑土壌中のタマネギ乾腐病菌密度推定の試み	生態と防除研究会第 2 回研究集会要旨集: 13-17.	2014 年 12 月
12	正司和之ら	アカザカズラに発生した <i>Aspergillus niger</i> van Tieghem による黒点病(新称)	日本植物病理学会報第 81 巻第 1 号:99.	2015 年 2 月
13	正司和之ら	マンガンを指標としたマンゼブ簡易分析法の実用性評価-自然降雨条件下におけるカンキツ果実上での付着量推移-	日本農薬学会講演要旨集:98.	2015 年 3 月

## 2. 刊行物（ホームページ公開を含む）

No.	刊 行 物 名	年 月
1	平成 25 年度業務年報	2014 年 5 月
2	初めての冬どりタマネギづくりー販売額 100 万円/10a を目指して	2015 年 2 月

## 3. 著書・解説

No.	著 者	題 名	掲載誌	年 月
1	大坪竜太	イチゴ局所温度制御技術の上手な活用法 ～早植えは 6 文(60 万)の時の巻き～	グリーンズ佐賀の野菜	2014 年 7 月
2	浦田貴子	上場から全国へ 収量, 外観, 味の 3 拍子そろったサツマイモ新品種'からゆたか' 来春登場	グリーンズ佐賀の野菜	2014 年 9 月

## 4. 講 演

No.	演 者	題 名	研修会開催場所	年 月
1	田代暢哉	カンキツの病虫害防除について	熊本県果樹育種研究会総会	2014 年 6 月
2	石橋哲也	イチゴ農家の売り上げ3千万を目指してーパッケージセンター活用と環境制御技術を駆使してー	園芸学会平成 26 年度秋季大会 第 18 回日本イチゴフォーラム	2014 年 9 月

## 5. 公表した研究成果情報

### 1) 佐賀県試験研究成果情報

No.	情 報 名	担 当
1	冬どりタマネギの全自動移植機での植え付け深さは 3~4cm が良い	畑作・経営
2	冬どりタマネギの多収生産は太い苗と 10 月の草丈 60cm 葉数 7 枚の草姿で実現	畑作・経営
3	冬どりと春どりを組み合わせたタマネギ 6ha 栽培で所得 1, 000 万円が確保できる	畑作・経営
4	販売額 100 万円/10a を目指すための夏播き冬どりタマネギ栽培マニュアルを作成	畑作・経営
5	イチゴ'さがほのか'の連続うね利用栽培は 9 作目まで減収しない	畑作・経営
6	イチゴ'さがほのか'の先絞り果はホウ素酸塩肥料の葉面散布によって軽減できる	畑作・経営
7	機械定植で問題になるタマネギ乾腐病はセル成型トレイへのトリフルミゾール水和剤の灌注で予防できる	畜産・果樹
8	アカザカズラに発生する黒点病は雨よけ栽培で抑制できる	畜産・果樹